

佳作

遠泳にちゅうせんしたよ

神奈川県 逗子市立逗子小学校二年 大矢 桃花

七月十三日から二十八日の間の十六日間、ず子海がんで行われている海泳会にさんかしました。海泳会は、コーチや自分たちのおとうさん、おかあさんたちに海で泳ぎをならうこうしゅう会です。

さいしょのクラスは、『ウミガメ』でした。四日間このクラスですごし、けのびやクロールをならいました。

そのあと『こくじら』クラスに上がりました。ひら泳ぎをならうクラスです。ひら泳ぎはにが手だったけれど、コーチやおとうさんおかあさんたちのおかげですこしずつ上手になりました。

九日目、ブイ中のひがしはまから海がん中おうの間を—おうふくしました。泳ぎおわって、さとうコーチが

「—ども立ってない人？」

よ。」

と、言ってくれました。がんばってよかったなと思いました。わたしががんばれたのは、十日間泳ぎを教えてくださいましたおとうさん、おかあさんたちと、うまくなりたいたい—しょにがんばりつづけたなか間のおかげです。らい年の夏までもっとれんしゅうして、つぎの海泳会では一ばん上のクラスの『くじら』に上がって、ブイ中ではなくブイのそとを泳ぐ遠泳にちゅうせんしたいです。

と、聞きました。手をあげたのはわたしだけでした。「もかすごい！立たなかったのはもかだけだよ！」と、ほめてくれました。とてもうれしかったです。

さいしゅう日の目ひょうはブイ中二おうふく（八百メートル）遠泳です。わたしは一ばんにスタートしました。となりには大人がついてくれました。泳いでいるときくるしくて、

「あーあ、まだつかないか。早くゴールしたいな」と、ずっと思っていました。ゴールが近づいてきたとき

「もかがんばれ！」

「あとすこしだよ。」

と言うクラスのなか間たちや、大人たちの声が聞こえてきました。「わあー、みんながおうえんしてくれてる。もうすぐでゴールできる」。むねがドキドキしてきました。くるしさがふきとびました。

そしてぶじにゴール。かおをあげると目を赤くしたママのかおとみんなのえがおがありました。

しゅうりょうしきのとき、さとうコーチが

「もかが九日目に—ども立たないで—おうふくできたから、みんなががんばる気になったんだよ。もかがこくじらをさいごまでひっぱってくれたんだ